

2013年4月1日

関係各位

千代田化工建設株式会社
IR・広報セクション

2014年3月期 期首訓話要約「時代を捉え、時代を拓く」
(実施:4月1日、社長:澁谷 省吾)

不確かな時代を見据えて、これからの時代にふさわしいエンジニアリング会社へ変革する。企業は社会に認められてこそ価値がある。奢り偏った自己主張ではなく、今と将来を鳥瞰し、俯瞰し、時代を読み解く知恵を持って技術力と人材を活かし、変革の先にある新しい千代田グループになるための施策を実行する。

「時代を捉え、時代を拓く」をキャッチフレーズとする新・中期経営計画を5月に発表する。要旨の一部を以下紹介する。

1. 事業領域の多様化

引き続きコア事業であるエネルギーインフラ分野に注力しつつ、高度な技術が求められるプロジェクトに挑戦する。同時にエンジニアリングマネジメント能力を活かし、社会インフラなど事業領域の多様化を進めていく。

2. グローバル展開

10年後を見据え全世界にわたる分担、協業体制の定着を目指す。各拠点における機能分担の明確化を進め、各地域に根差しニーズに即応することで地域の成長を取り込んでいく。

3. リスクマネジメント

リスク対策や情報収集・分析の体制をより一層強化する。社員の安全確保を何よりも最優先し、あらゆる対策を講じてゆく。

会社とは、継続的な経営理念のもと人類社会に貢献する為に永続的な発展を目指していくものであり、同時に共に働く社員の個々の人生を作り上げる意味も持っている。グループ社員皆と共に時代を拓き、真に強い、新たな千代田グループを築き上げて行きたい。

この件に関するお問い合わせ先 : IR・広報セクション 伊藤健 / 高橋昌子

電話: 045-225-7734 FAX: 045-225-4962

URL: <https://www.chiyoda-corp.com/contact/index.php>